

令和5年度 組織・機構改革（局再編成）の検討状況について

1 背景

約3年間にわたる新型コロナウイルス感染症対応においては、健康危機管理として、積極的疫学調査から病床確保、入院調整、ワクチン接種推進など多岐にわたる対応が求められる中、全庁一丸となって、市民の皆様の生命の安全の確保に取り組んでまいりました。また、行動制限が繰り返し求められる中においても、地域におけるスポーツ・文化活動の継続、横浜マラソンや横浜トリエンナーレなど、横浜の魅力を発信する事業を工夫しながら実施することにより、賑わいの灯を絶やさない努力を重ねてまいりました。

今後のポストコロナ社会を見据え、「平時から新興感染症発生時まで、市民の皆様が安心・安全・健康に生活できる環境づくり」を行うとともに、「地域に根差したスポーツ・文化活動の更なる振興を通じた、地域コミュニティの活性化」、「横浜の魅力を発信し、人と企業が集い、賑わいと活力あふれるまちづくり」を更に推進していくため、局再編成について検討を進めています。

【参考】再編案

2 局再編成の検討状況【医療局・健康福祉局関連】

(1) 保健所・医療分野の連動による健康危機管理への機動的な対応

【目指す姿】

- ・新興感染症（新型コロナ含む）に対する保健所の対応と病床確保、入院調整などを一つの局で機動的に運用
- ・市内医療機関等の医療ネットワークとの連携強化
- ・健康危機管理体制の一元化により、区と区内医療関係団体の連携強化など、区の実情に応じた支援を推進

【検討の方向性】

- ・保健所機能を医療局へ移管し、健康危機管理体制の一元化を図ります。
- ・健康危機管理における企画戦略機能を強化します。
- ・総括・医療政策の部門から、医療政策の部門を分離し強化します。

3 今後のスケジュール（予定）

令和5年1～3月	第1回定例会（事務分掌条例他、関係条例改正議案の提出）
同 2～3月	新組織設置準備（規則改正等）
同 4月	新組織の設置

